



安全

「人の命を守る」製品を開発・提供する企業として、グローバル社会での安全で快適な環境づくりのため、安全・安心を推進するだけでなく、全ての人々のウェルビーイングを向上するための取り組みを推進しています。

目標とするSDGs

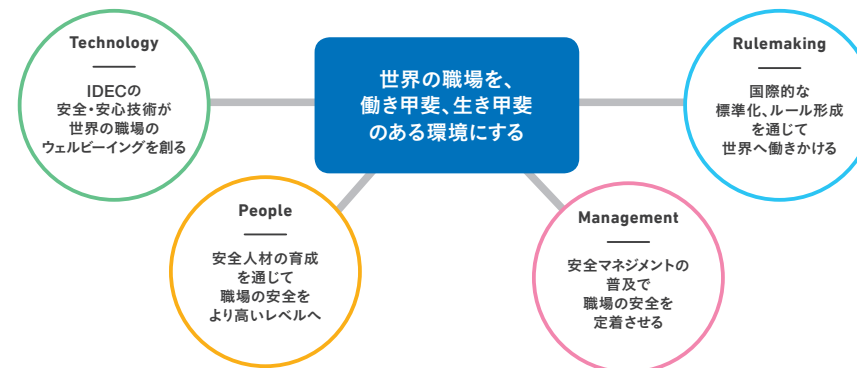


安全のその先、ウェルビーイングをつくる

IDECは、創業当時より、「人の命を守る」製品を開発・提供する企業として制御技術をコアとするさまざまな製品やサービスを社会に提供してきました。働く誰もが健康で、幸せに、生き生き暮らせる社会を実現するためには、高い性能と使いやすさを有し、品質の安定した製品を供給する技術面だけでなく、人材教育や、基準・標準などのルール対応、またウェルビーイング実現のための経営層のコミットメントが重要です。IDECは、Technology(技術)、People(人材)、Rulemaking(社会ルール)、Management(マネジメント)の4つの側面から、安全への取り組みを推進しています。



ILO(国際労働機関)の主導で設立されたThe Global Coalition for Safety and Health at Work(労働安全衛生グローバル連合)の企業推進タスクグループの活動に強く賛同・参画し、2022年5月に日本で開催された第2回ビジョンゼロ・サミットでも多数の発表を行いました。IDECが世界をリードする協調安全技術の発表をはじめ、事業を通じて世界一、安全・安心・ウェルビーイングの追究・実現を目指すこと、ならびに人々が重大な労働災害から保護され、安全かつ健康に働く世界を目指す地球規模の予防文化活動を啓発していくことを世界に発信しました。



技術系を対象とした安全知識レベルと設計能力を測る資格

セーフティアセッサ、セーフティベーシックアセッサ、ならびにロボットセーフティアセッサ有資格者数 (2022年4月時点)

547名

管理系を対象とした労働安全マネジメントに関する知識と遂行能力を測る資格

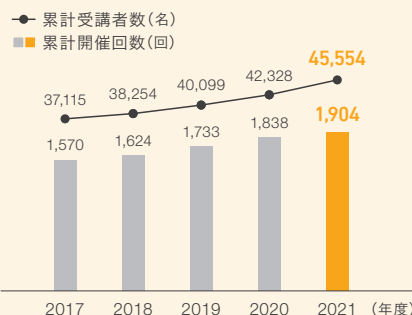
セーフティオフィサ有資格者数 (2022年4月時点)

105名

国際安全規格に基づいた安全なものづくりや安全コンサルティングを行うため、安全の資格の受検費用や資格更新費用を会社が負担し社員に取得を推奨しています。

※2022年よりカウント方法の見直し・変更を行いました。

安全セミナー・防爆セミナーの累計受講者数および開催回数 (IDEC単体)



お客さまに、正しく安全関連機器および防爆関連機器を使っていただくための基礎から応用、そして実践までの各種安全セミナー(オンライン)を無料で開催しています。



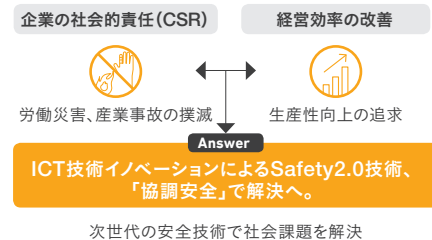
安全

Technology(技術)

安全・安心技術の追求

IDECは制御機器・制御システム事業を推進する中で、人と機械が共存する環境での安全性を追求し、機械安全や防爆安全の技術開発に注力しています。次世代の安全思想「協調安全/Safety2.0」や、リスクアセスメントによる安全技術をこれまでのFA分野以外のお客さまにも提供することで、生産性を保ちながら安全を確保する環境の構築にも精力的に取り組んでいます。この安全の分野は、IDECのCSR活動の5つの柱（環境、社会、ガバナンス、安全、品質）の中核として位置付けています。

今後さらに先進的なハード・ソフトの開発や産業現場の安全性を高める規格づくりに取り組み、世界一安全・安心を追求し、実践する会社の実現を目指します。



People(人材)

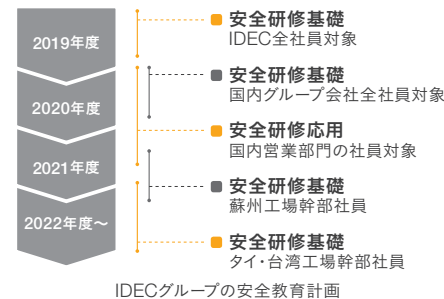
安全人材の育成

「安全・安心」を社会に提案できる人材を育成するために、全社員へ安全教育を実施しています。

2019年度はIDEC全社員向けに安全研修を実施し、2020年度は国内グループ会社にも対象を広げて実施しました。2021年度は海外の主要生産拠点である、蘇州工場の幹部社員に安全教育を実施しました。

2022年度以降はタイ、台湾工場での幹部への安全研修へと拡大を図っていきます。

安全研修では、IDECの安全の歴史や安全についての考え方、安全製品、Vision ZeroやSafety2.0など最新の情報を学ぶとともに、研修後の理解度テストにより知識の定着を図っています。



Rulemaking(社会ルール)

ルール形成を通じて世界へ働きかける

国際標準化は、社会的課題の解決を促進し、産業の国際競争力を強化していく上で大きな役割を担っています。

IDECは、IEC(国際電気標準会議)の専門委員会に参加し、開発・標準化・知財の三位一体推進体制で標準化活動を推進しています。とりわけ、ロボット安全操作の3ポジションイネーブルスイッチの標準化では、IDEC仕様をベースとしたIEC規格づくりに貢献することで市場を獲得し、デファクトスタンダードとなっています。

今後も先進性と独自性により協調安全分野の技術開発とルールづくりで、社会の進歩に貢献していきます。



IEC会議(米国)での協調安全/Safety2.0の発表の様子

Management(マネジメント)

ISO 45001の定着・拡大

労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格である、ISO 45001認証を2019年3月に滝野事業所で初めて取得し、2021年度には滝野・福崎・尼崎・竜野・木場の5つの事業所で共通のマネジメントシステムのもと認証を取得しました。

Vision Zeroが発行する、事故ゼロと健康的な仕事のための7ゴールデンルールに基づくアプローチにより、職場で働く全ての人々の安全と健康、ウェルビーイングを高め、より安心して働ける職場環境づくりに努めています。

